

発行日：2022.3.17
発行：稚内市教育研究所
〒097-0012
稚内市富岡1丁目1番2号（風～るわっかない内）
TEL・FAX：0162-73-6386
E-mail：wak-kenkyujo@abelia.ocn.ne.jp



研究所 HP

第2回 英語教育プロジェクト会議 開催

2月2日(水)、第2回英語教育プロジェクト会議を、教育研究所において、マイクロソフト【teams】で開催致しました。参加学校13校(欠席校3校)、船木所長、所員1名(欠席1名)、ALTメリー先生(ジェイコブ先生欠席)で行われました。始めに、教育研究所 船木所長より開催にあたっての挨拶が行われました。その後、議題の説明・交流が行われました。

「議題内容」

○ALT 活用状況について

★令和3年度 ALT の派遣

1・2学期のALT状況については、新ALTの着任が、新型コロナ感染拡大の影響で延期になり、当初着任予定が立たない状況でした。その為、1学期は2人体制(ベサニ・ジェイコブ先生)の派遣で行いました。2学期は、7月でベサニ先生が退任したため、8月からジェイコブ先生の1人体制の派遣でかなりハードなスケジュールを頑張ってきました。11月より新ALTメリー先生が着任により、2人体制になった為、おおよそ通常の派遣体制に戻りました。

★令和4年度のALT派遣

ALTジェイコブ先生は、7月をもって任期満了となり退任します。丸3年一生懸命頑張ってきました。コロナ感染拡大で来日が伸びていた、ミエラニ先生が3月に着任しました。1学期(4月～7月)は、3人体制で行います。2学期(8月～)は、メリー先生、ミエラニ先生の2人体制になるか、3人体制になるかは、新ALT先生の着任が決まっていない為、今のところ未定です。

★ALT 職務

外国語指導助手の職務(招致外国語青年任用規則による)

- ・小中学校における外国語授業等の補助
- ・小学校における外国語授業の補助
- ・外国語教材作成の補助
- ・特別活動や部活動等への協力
- ・外国語スピーチコンテストへの協力



★お願い・確認事項

ALT派遣スケジュール表は、派遣日の2週前に各学校へFAX致します。公用車や運転者の手配をする為、締め切り日迄に、出来るだけFAXをお願い致します。レッスンプランは2日前提出を出来るだけお願い致します。ALTが事前にレッスンプランに目を通し、授業内容を勉強しています。不安なく授業に入れるようにご協力をお願い致します。

○令和4年度の予定について

★「令和4年度第1回英語教育プロジェクト会議」は令和4年6月上旬予定です。

★「令和4年度英語教育ワークショップ」は、令和4年9月を予定しています。

内容については、以下の意見交流が行われました。

- ・ALTを活用した授業実践
- ・タブレットを活用した授業実践
- ・Can-Doリストの扱いについて(Can-Doリスト形式の学習到達目標の作成や活用、評価、学習指導計画との関連づけ)
- ・「書くこと」をどのように指導しているか

《令和3年度英語教育ワークショップでの今後への希望・要望》

- ・オンライン形式、とても良かった。この形式を活用して、もっといろんな学校の先生方に参加してほしい。
- ・オンラインでも対面でも今回のような授業の実践について教えて頂けたら嬉しい。
- ・定期的実践交流があるといいと思います。
- ・実際に行っている活動をもっと取り組んだり、授業のなかで実践している映像を見ることができたりすると有難いと感じた。



稚内市教育研究所 第2回運営委員会 開催

2月16日(水)、第2回運営委員会を教育研究所において、オンラインで開催致しました。

参加者は14名(欠席1名)、運営委員長 川原修子校長、教育研究所 船木所長、研究所所員2名で行われました。

始めに、川原運営委員長より開催にあたっての挨拶が行われました。又、表純一教育長からは次のように挨拶がありました。「あらためて、コロナ禍の中、年間を通して様々な研修の企画や研究内容などをお便りや所報で市内の先生方に還元していただいた。研究所の運営にお礼を申しあげたい。教育委員会としても、稚内がずっと大切にしてきた子育て運動のもと、『誰一人取り残さない』という気構えを持って頑張ってきました。しかしながら、コロナも完全終息までの先が消えず、様々な課題もある中、これからも皆様のお力をお借りしたい。」



その後、令和3年度業務報告を船木研究所所長より説明致しました。

○令和3年度業務報告

今年度は、運営の重点を「GIGAスクール構想の推進に関わる研究と研修の充実」と押さえて、業務を推進してきた。具体的には、各校の研究や稚教研の部会研究との相乗効果、あるいは側面的な支援や援助ができればという視点で、研究や研修の方向性を定めて取り組んできた。

所員研究では、前半はタブレット端末を活用した授業実践の収集を、後半は小中9年間を見通した情報活用能力育成のための体系表づくりに取り組み、それぞれ所報に掲載、発行することができた。研究業務のもう1点は、「小中連携・一貫教育」の推進に関するもので、稚教研との共催で、他管内の実践を学んだり、実践を持ち寄り交流する二本立ての内容をハイブリッド方式で行った。

研修業務については、コロナ禍の影響で中止になったものをあつたが、教育研究所が主催・主管で行うものについてはほぼ計画通り実施できた。GIGAスクールサポーターの塩崎先生を講師に、Google講座を実施できたのも大変有意義だった。

来年度の運営に関わって危惧していることは、所員の先生方の負担が大きいのではないかという事であり、どのように改善すると、より効果的効率的に所員会議の運営・研究が推進でき、先生方に研究内容を寄与できるのか、研究の進め方について検討する必要があると感じているので、ご意見をいただきたい。



○協議

質問・意見はなかったため、本年度の活動に対する感想や次年度の研究所の事業に対する要望を交流。

・CRTの実施時期の検討や小学校副読本の改訂など、第1回の運営委員会で意見を挙げた事項についての検討が進み、大きな前進を感じる。

GIGAスクール構想推進に関しての様々な研修の企画は、たいへんありがたかった。

・研修講座をたくさん企画していただき、参加者も多く、今のニーズに合った運営でありがたかった。今後リモートの機会が増えてくることは明らかなので、更なる研修機会をお願いしたい。

・所員会議の件に関わって言うと、限られた人数の中で学校運営をしており、担任外の先生が少なくなっている中、所員を送り出すことも大変になってきている。回数を見直すなどの時期に来ていると思う。

・コロナ禍で大変な中、様々な研修を企画し、実施の方法も工夫していただき、たいへんありがたかった。所員会議に関わっては、やはり負担が大きくなっており、見直す時期に来ていると思う。

・所員として参加しているが、中学校は副担任が多くて小学校よりは負担が少なく感じるが、話を聞くと大変さはわかります。コロナ禍やGIGAスクール構想を推進する中、いろいろな研修を工夫しながら進めていただき、校内的にもタブレットの活用が大きく進んだ。

・稚内に転勤してきて、「教育研究所ってなんだろう?」というところから始まりましたが、研究所便りや所報で、活動の様子や子どもたちの頑張りを知ることができ、大きな力になりました。今後も、オンラインを中心にした研修が更に増えていくと思うので、力になっていただきたい。



Nice To Meet Everyone 《ミエラニ先生》

☆3月11日(金)に南アフリカ共和国より着任しました。

宜しくお願い致します。

